

一般大気環境中のアスベスト濃度調査結果

1 調査目的

一般環境大気中のアスベスト濃度については環境基準が定められておらず、常時監視の義務も課されていません。しかしながら、環境大気中のアスベスト濃度を継続的に監視、把握することは市民の安全・安心を確保する上できわめて重要であります。また、平成23年3月の東日本大震災で被災した建物の解体等による環境中へのアスベスト飛散も懸念されるところでありその実態を把握し、市民への情報提供を行うため下記のとおり調査を実施しました。

2 調査内容

(1) 調査時期

平成23年4月～平成24年3月（月1回）

(2) 調査地点

一般環境地点 1地点（朝日三丁目 環境保全センター）

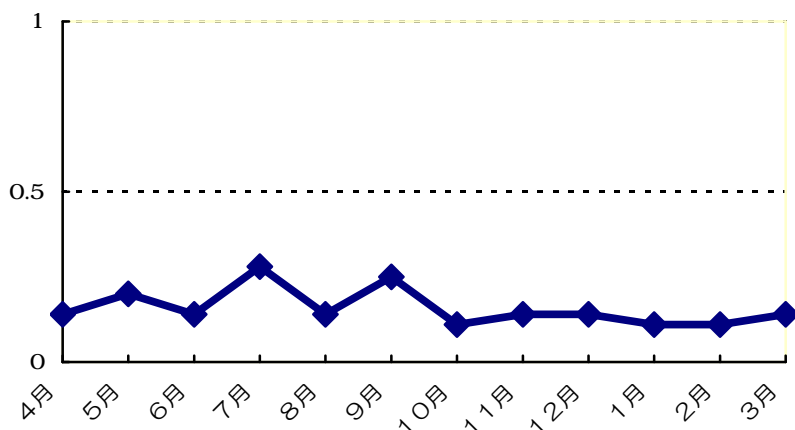
3 調査結果の概要

大気1リットルあたり0.11本から0.28本の範囲にあり、世界保健機関（WHO）の環境保健評価基準に示す健康への影響が極めて低いとされる1リットルあたり10本と比較しても低い値でした。

また、東日本大震災前の結果と比べても変化はありませんでした。

平成23年度アスベスト濃度調査結果（朝日地区）

（繊維本数/リットル）



調査月	アスベスト濃度 (3日の幾何平均)本/リットル
4月	0.14
5月	0.20
6月	0.14
7月	0.28
8月	0.14
9月	0.25
10月	0.11
11月	0.14
12月	0.14
1月	0.11
2月	0.11
3月	0.14
平均	0.16

（繊維本数/リットル） 図3 年度別アスベスト濃度調査結果

